

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	2単位 保育の内容・ 方法	保育内容 言葉	豊田 順子	1年次	秋

授業のキーワード	領域「言葉」のねらい「心情、意欲、態度」の育ち 感性と表現の豊かさの追求
授業の概要	言葉は日常生活の中で養われ、思考の媒体、コミュニケーションの成立と行動の調整機能に欠かせないものです。言葉の発達や指導法について学び、児童文化財に触れ、豊かな感性を育み、保育技術を学びます。
期待される学習成果（目標）	履修「言葉」を他の領域と関連付けながら総合的に考えることができます。 子どもと共に生活する中で、言葉を育て、心を育てることができます。

## 授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	ガイダンス	自己紹介、講義内容の説明・教科書の扱い方	第9講	子どもの心を揺り動かす、言葉遊びの楽しさとは	・言葉のひびき、リズム ・詩やうたとの出会い ・オノマトペ
第2講	幼児教育について	幼児教育の基本を知る ・環境とは？遊びとは？ ・幼・保・小の関連	第10講	児童文化財作りの実践（1）	・ペープサート
第3講	言葉の発達（1）	・乳幼児期の言葉の発達と特性について	第11講	児童文化財作りの実践（2）	・ペープサート
第4講	言葉の発達（2）	・乳幼児期の言葉の発達と特性について	第12講	児童文化財作りの実践（3）	・ペープサート
第5講	領域「言葉」について	領域「言葉」の ・ねらいと内容について ・他の領域との関係	第13講	文化財を通して想像力を高める（1）	・絵本の歴史と内容 ・わらべうた
第6講	信頼体験から生み出されることば	・ことばにならない表現読み取り ・居場所、居方について	第14講	文化財を通して想像力を高める（2）	・紙芝居の歴史と実践 ・素話（昔話、民話）
第7講	感情体験とことば	・快、不快の感情 ・思いの気付きと主張 ・気持ちの調整と立直し	第15講	まとめと実践	言葉を通して相互に伝え合う喜びを実践を通して味わいましょう。
第8講	広がる世界とことば	・文字との出会い ・イメージの言語化 ・はなし言葉と書き言葉	定期試験		筆記試験
評価方法	筆記試験 70%、授業 30%（授業態度、提出物、実践含む）として評価します。				
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
事例で学ぶ保育内容<領域>言葉（榊原文書林）			随時紹介（毎授業の前に言葉遊び、伝承遊び、自然物など、取り入れながら進めていくので、気付きの拠り所にしてください。）		